



今年の第1回目のふくだいCNS・CN新聞では、3名の認定看護師の活動を紹介します。

認知症看護認定看護師：大島 俊哉

## どんな仕事？

認知症の人が持てる力を発揮できるよう認知機能の評価や症状のマネジメントを行い、生活・療養環境を調整していきます。

## 最近の活動報告

### ①認知症ケアカンファレンス・ラウンド

認知症の人が穏やかに入院生活を送れるよう、その人にあった対応方法や環境調整、退院後の生活について認知症ケアチーム内で話し合いを行っています。

### ②院内デイケア「あっぷ」の開催

ベットから離れ、少しでも治療を忘れて穏やかな入院生活を過ごしていただくために、体操やゲーム、作品作りなどを行っています。

### ③身体抑制最小化ミーティング

身体抑制が適切に運用されているか実施状況の確認を行い、抑制の実施状況の周知や身体抑制最小化に向けた話し合いを行っています。



皮膚・排泄ケア認定看護師：畑 千尋

## どんな仕事？

皮膚・排泄ケア認定看護師  
(WOCナース)

W:創傷

O:人工肛門・膀胱

C:失禁



を専門領域としています。

## 最近の活動報告

特定行為研修を修了し、皮膚・排泄ケアの専門的視点に加え、創傷管理に関する特定行為も実践できることで、創傷の評価からデブリードマンや陰圧閉鎖療法といった処置、医師への治療提案まで一貫した創傷ケアを実践しています。

治療法が多様となり、超高齢社会が進む現代において、WOCナースの需要はますます高まると考えられます。皮膚・排泄ケア領域における専門性の高い看護ケアと創傷管理における特定行為実践を活かし、患者さんの「治療」と「療養」を両立したケアを一緒に提供しませんか？



# ふくだいCNS・CN新聞



No15 令和8年1月発行

福井大学

発行：福井大学医学部附属病院

専門・認定看護師連絡会 広報担当

手術看護認定看護師：木村 夏希

## どんな仕事？

ここ数年でロボット手術が増え、開腹手術が腹腔鏡手術へ移行しているなど、低侵襲手術の進歩を感じています。

さらに今年1月よりダヴィンチが1台増えました。進歩する医療技術を学び、理解し、安全に提供できる環境を作るお手伝いも手術看護室認定看護師のお仕事です。



## 最近の活動報告

北陸地区の手術看護：福井・石川・富山の手術看護認定看護師で倫理とコミュニケーションの研修を企画・運営しました。その他にも福井県として手術室看護師の意見交換会や医療安全の研修などを企画・運営しています。ZOOM参加の研修も多く、認定看護師が講師を務めています。日々の業務の疑問や自身のレベルアップに多くの手術室看護師が参加されています。



## 福井大学医学部附属病院の手術室について

認定看護師と術中麻酔管理チームの特定看護師が多数在籍しており、それぞれが協力し患者さんの安全と質の高い医療を提供に努めています。また、手術室での勉強会を一緒に企画・運営するなど手術室全体の質をより向上させるよう活動しています。手術室で何が行われているんだろう？知りたくないですか？疑問など一緒に考えましょう！！

次回は令和8年4月に発行予定です。

- がん看護専門看護師
- 糖尿病看護認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 新たに仲間に加わった認定看護師の皆様を紹介予定です。

